

議会だより

特 集

子育てお父さん
インタビュー
スポーツ少年団に
入れています

Contents

特集	2
平成29年度予算	4
議案等審議	6
請願・陳情の審査結果	10
一般質問（質問者10名）	11
閉会中の議会活動	17
次回定例会の開会予定	20

* 特 集 *

子育てお父さん インタビュー

スポーツ少年団に
入れています

スポーツ少年団にお子さんを入れているお父さん、お二方にお話を聞きました。

横堀剣道スポーツ少年団の笹嶋紀男さん、那珂ファイターズスポーツ少年団の松本英樹さん、ありがとうございました。



小さいときは、体をたくさん動かしてほしい 学校の勉強はしっかりと

スポーツ少年団に入ったきっかけは何ですか。

笹嶋さん 長男の落ち着きがなかったので、直すために武道を、と思いました。剣道は、近所で行っていたことと、私が時代劇好きだったので見学しました。やっている少年から誘われ、入りました。そのあと私も

やるようになりました。

松本さん 病気がちだった長男の体を強くする意味でも何かスポーツをしてほしいと思い、自分が小学校から高校まで、野球をやったこともあり、野球少年団を勧めました。見学に行くと小学校の友達に誘われ、本人もその気になり、即入団

となりました。

スポーツ少年団に入る前後で親子の会話などに変化はありましたか。

笹嶋さん 剣道を例にすることで、何かを教えやすくなりました。「やるなら短時間でもしっかりとやらせ」、剣道で「身になる一本を振

れ」という教えを基に話すなどです。

松本さん 野球に関する話題は確実に多くなりました。

低学年時では団体行動に関する、中学年時は野球のルールに関する、高学年時は努力することの大切さ、といった内容です。



松本 英樹 さん



菅嶋 紀男 さん



学校の勉強とスポーツのバランスについてどのように考えますか。

菅嶋さん スポーツは学校の勉強をしっかりとやった上でのことです。今の子供たちは外で遊ぶことが少なく、体を動かす時間が減っているのです、学校外では体を動かしてほしいです。

剣道からは、いつでも初心を大切に物事や人に対してしっかりとした間合いで、チャンスには正々堂々と勝負する気持ちを育ててほしいです。

松本さん 小学生のうちにはたくさん体を動かして、仲間と笑ったり泣いたりしてほしいです。ですが、どの道に進むにせよ、社会人になつてからの基礎として中学までは、学校でしっかりと学ぶことが必要と考ええます。

平成29年度のお金の使い道が決まりました

一般会計予算

186 億 8000 万円

特別会計予算総額

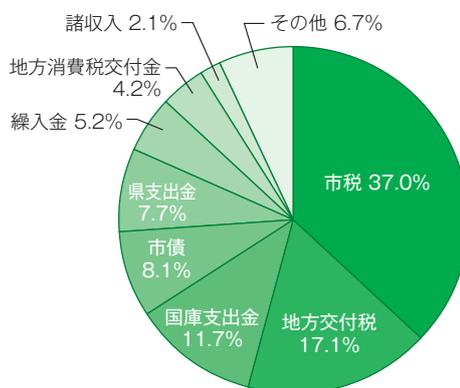
154 億 8900 万円

会計別予算

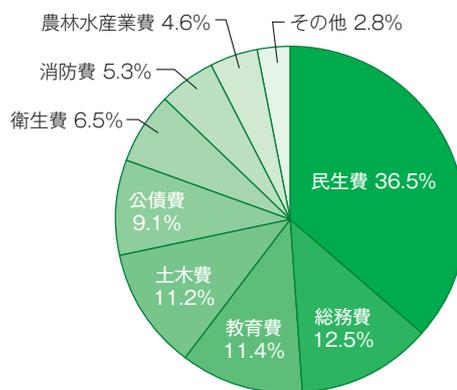
一般会計	186 億 8000 万円
特別会計	
国民健康保険	68 億 5500 万円
下水道事業	20 億 6100 万円
公園墓地事業	1200 万円
農業集落排水整備事業	11 億 5200 万円
介護保険	46 億 9100 万円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1 億 2600 万円
後期高齢者医療	5 億 9200 万円
水道事業会計	
収益的支出	11 億 9207 万円
資本的支出	10 億 4800 万 8000 円

3月3日に、市長から平成29年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月13日から15日の3日間に行われ、各常任委員会で行われました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

ここでは、今回決定した平成29年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。



一般会計歳入



一般会計歳出



公立幼稚園建設事業

事業費

2億7596万1000円

平成31年度の統合幼稚園開園に向け、幼稚園施設の整備を行います。平成29年度は設計業務を完了後、建設工事を発注・着工し、平成30年度に竣工します。総事業費は約8億円です。



まち・ひと・しごと

情報発信事業

事業費

1328万7000円

まち・ひと・しごとの情報や市の魅力などの発信により移住・定住を促進する事業です。主にWEBマガジンや市民協働ポータルサイトの構築、いい那珂暮らし応援団運営等を行います。



静峰ふるさと公園

魅力向上事業

事業費

8106万9000円

静峰ふるさと公園の魅力向上のため、複合遊具等の整備を行うことで、四季を通じた公園利用者の集客アップと併せて地域資源を活かした観光振興を図ります。

その他 平成29年度の主な新規事業

・介護施設等整備事業

8105万9000円

・茨城県知事選挙費

2247万7000円

・いい那珂暮らし応援子育て世帯住宅取得助成事業

1950万円

・いい那珂暮らし促進事業

1197万4000円

・常陸鴻巣駅駐輪場整備事業

481万9000円

・理科教育設備整備事業 (中学校)

180万8000円

・理科教育設備整備事業 (小学校)

129万4000円

・かわまちづくり支援制度活用事業

4万3000円

など

●平成29年 第1回定例会 ●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 21日間 3月3日～23日

《傍聴者 119人》

今回審議した議案等は

市長提出案件…37件

請願・陳情…2件

議員提出案件…1件

計40件

提出された議案等とその結果

※請願・陳情の内容は別途掲載しております。
10ページをご覧ください。

議案等番号	議案等名	内 容	結果
請願2	「那珂市民の安全確保のために日本原電と茨城県及び東海村等が締結した『原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書』の見直しを求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願	提出者：先崎 千尋 ほか10名 (平成28年9月定例会からの継続審査案件)	不採択
議案1	那珂市公文書開示・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	行政不服審査法改正に伴い改正した那珂市公文書の開示等に関する条例及び那珂市個人情報保護条例を引用する部分に条ずれが生じたことによる改正。	可決
議案2	那珂市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例	国家公務員の配偶者同行休業に関する法律の取扱いを踏まえた人事院規則改正に伴うもの。内容は、再度の配偶者同行休業の延長を可能とする事由の規定。	可決
議案3	那珂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	児童福祉法改正に伴うもの。内容は、文言及び条項の修正。	可決
議案4	那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	高齢者給与制度を国、県に合わせる改正をするとともに、人事交流促進のために大都市部への職員派遣における地域手当の制度改正を行うもの。	可決
議案5	那珂市税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例	国税及び地方税の延滞金の割合に合わせて延滞金の割合を引き下げるための改正。	可決
議案6	那珂市税条例等の一部を改正する条例	社会保障の安定財源の確保のための幾つかの法律改正に伴うもの。内容は、消費税率10%への引上げ時期が平成31年10月1日に変更されたことに伴う、個人住民税の住宅借入金等特別控除制度適用期限の平成33年12月31日までの延長など。	可決
議案7	那珂市地区交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	旧戸多小学校校舎を平成29年4月1日から戸多地区交流センターとして供用開始するための改正。	可決
議案8	那珂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	学校教育法改正に伴うもの。内容は、放課後児童支援員資格研修受講要件に、義務教育学校教諭となる資格を有する者を追加するもの。	可決
議案9	那珂市介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険法施行令改正に伴うもの。内容は、介護認定審査会の委員の任期を3年とするもの。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案10	那珂市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例	国税及び地方税の延滞金の割合に合わせて公共下水道事業受益者負担金の延滞金の割合を引き下げるための改正。	可決
議案11	那珂市空き家等の適正管理に関する条例	空き家の所有者等に対し、空き家の適正管理を促すとともに、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう、安全で安心なまちづくりを推進することを目的として制定するもの。	可決
議案12	那珂市障害支援区分認定審査会条例	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令にて、那珂市障害支援区分認知審査会の任期を3年とする場合は条例に定める必要があるため、既存の那珂市障害支援区分認定審査会の委員の定数を定める条例を廃止し、改めて委員の定数及び任期を定めるもの。	可決
議案13	那珂市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例	那珂市区域指定の実施に関連するもので、都市計画法に基づき、市街化調整区域内にあらかじめ指定する区域の指定基準やそこの開発行為の内容について定めるための条例の全部改正。	可決
議案14	那珂市水道事業の剰余金の処分等に関する条例	これまで地方公営企業法に基づき行っていた剰余金の処分及び欠損金の処理について、水道料金の減収や木崎浄水場の更新により生じると予想される欠損金に備え、新たに条例を制定するもの。	可決
議案15	平成28年度那珂市一般会計補正予算(第10号)	歳入歳出それぞれ6億1706万9000円を増額し、総額を193億3538万4000円とするもの。主な内容は、基金積立事業の増額など。	可決
議案16	平成28年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ1億4819万9000円を減額し、総額を67億7301万4000円とするもの。主な内容は、保険財政共同安定化事業拠出金の減額など。	可決
議案17	平成28年度那珂市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ237万4000円を増額し、総額を20億4403万1000円とするもの。主な内容は、那珂久慈流域下水道事業の増額など。	可決
議案18	平成28年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ2078万5000円を減額し、総額を9億481万4000円とするもの。主な内容は、農業集落排水整備事業の減額など。	可決
議案19	平成28年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ8280万1000円を減額し、総額を44億5952万7000円とするもの。主な内容は、介護サービス給付事業の減額など。	可決
議案20	平成28年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ195万1000円を減額し、総額を1億3700万円とするもの。主な内容は、人事院勧告に伴う職員人件費の補正など。	可決
議案21	平成28年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1163万1000円を増額し、総額を5億4663万1000円とするもの。内容は、広域連合納付金の増額。	可決
議案22	平成29年度那珂市一般会計予算	新年度予算。4ページを参照。	可決
議案23	平成29年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算		可決
議案24	平成29年度那珂市下水道事業特別会計予算		可決
議案25	平成29年度那珂市公園墓地事業特別会計予算		可決
議案26	平成29年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算		可決
議案27	平成29年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算		可決
議案28	平成29年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算		可決
議案29	平成29年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算		可決
議案30	平成29年度那珂市水道事業会計予算		可決
議案31	公の施設の広域利用に関する協議について		県央地域9市町村で締結している協定について、対象施設の削除及び変更に伴い改めて協議し、協定の締結をするため、地方自治法に基づき議会の議決を求めるもの。
議案32	市道路線の認定について	市道路線5件の認定のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案33	市道路線の変更について	市道路線2件の変更のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決

08 ページ Close Up!!

09 ページ Close Up!!

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案34	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員1名の任期満了に伴い、同委員を再任するもの。	同意
議案35	那珂市政治倫理審査会委員の委嘱について	政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、有識者3名、公募者3名の計6名を委員に委嘱するもの。	同意
議案36	那珂市教育委員会委員の任命について	教育委員1名の任期満了に伴い、同委員を再任するもの。	同意
議案37	那珂市教育委員会教育長の任命について	教育長の辞職に伴い、後任者を任命するもの。	同意
請願1	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の提出を求める請願	提出者：全日本年金者組合那珂支部 支部長 人見 みさ ほか1名	不採択
発議1	那珂市議会基本条例の一部を改正する条例	よりわかりやすい内容とするため、全文の修正及び用語の定義を新たに追加するもの。	可決

賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長(中崎政長議員)は採決に加わりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		大和田和男	富山 豪	花島 進	中崎 政長	筒井かよ子	寺門 厚	小宅 清史	綿引 孝光	木野 広宣	古川 洋一	萩谷 俊行	勝村 晃夫	笹島 猛	助川 則夫	君嶋 寿男	遠藤 実	福田耕四郎	欠 員
請願第2号 「那珂市民の安全確保のために日本原電と茨城県及び東海村等が締結した『原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書』の見直しを求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願(平成28年9月定例会からの継続審査案件)	不採択	×	×	○	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
議案第13号 那珂市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例	可決	×	○	○	—	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	—
請願第1号 「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	○	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

総務生活常任委員会

◆議案第11号 那珂市空き家等の適正管理に関する条例

これは適正に管理がなされていない空き家の所有者に対して適正管理を促すとともに、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないように安全で安心なまちづくりを推進することを目的として制定されるものです。

Q 市への寄付の申し出があった場合はどう対応するのですか。

A 申し出があった際に判断します。

◆報告事項 戸多小学校跡地の利活用について

4年前に廃校になり、現在地区交流センターとして利用している戸多小学校の校舎の一部を那珂市教育支援センターとして活用する



戸多小学校跡地

旨の報告がありました。教育支援センターでは、幼児や児童生徒その保護者が抱える諸問題について本人、保護者、教諭などから相談を受け、事案に適した援助や助言指導を行い、子供のより良い発達や成長を促すことを目的とします。

産業建設常任委員会

◆議案第13号

那珂市都市計画法の規定による開発行為の許可等の基準に関する条例

那珂市区域指定は、主に既存集落の維持・保全を目的として、市街化促進の恐れがない、市街化区域から概ね1キロメートル以上離れた地域を対象とする第12号区域の指定を行うものです。

委員からは「新たな公共投資を必要としないことが指定の要件になっているにも関わらず、インフラの整備が完了していない地域が含まれていることはおかしいのではないか」「都市計画税を納めている市街化区域の住民が不公平感を抱く恐れがある」「市民に対する説明や議論が十分ではない」との意見がありました。そして「この制度を導入することは時期尚早である」とする反対討論と「課

題は多々あるが既存集落の保全や人口減少抑制のための手段として実施すべき」とする賛成討論ののち、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。

教育厚生常任委員会

◆報告事項

那珂市立小中学校における土曜日等授業の実施について

昨年度より実施している小中一貫教育の取り組みを一層発展させ、地域や保護者と連携した多様な学習活動の機会を確保するため、平成29年度から土曜日等の授業を実施します。平成29年度は年2回、平成30年度は年3回実施し1日は現在の小中一貫教育の日をあて、ほかの実施日は各学園が各々で定め、その日の分の振替休日は設けません。

Q 今後予定されている学習指導要領改定による授業

時数の増加に対応するための施策ですか。

A 学園ごとに特色のある授業を実施し、教師と児童生徒が触れ合う時間を増やすという目的であり、単に授業時数を増やす目的ではありません。

◆報告事項

瓜連学校給食センターの統合について

瓜連給食センターが平成29年度末に借地契約満了に伴い本年7月をもって稼働を停止し、那珂給食センターと統合します。

Q 瓜連センターの職員の処遇はどうなるのですか。

A 全員が那珂センターで調理に携わります。

Q 瓜連センターは今後どのようになるのですか。

A JA常陸から無償譲渡の要望が出ています。修繕費などは譲渡先が担うものとし、災害時の市の利用などを含めて話し合いをしていきます。

請

願

陳

情

今回の定例会で審議した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 2件／陳情 0件》

※請願第2号は、平成28年9月定例会から継続審査となっていたものです。

請願第2号

「那珂市民の安全確保のために日本原電と茨城県及び東海村等が締結した『原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書』の見直しを求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願

那珂市静1180

先崎 千尋

ほか10名

『原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書』を、周辺自治体にも原子力施設の新増設・廃止等の判断権限を認めるよ

不採択

う見直すことを求める意見書採択を求めるものです。3回にわたる継続審査の結果、既に執行部から繰り返し要求が行われていることや周辺自治体ที่ไม่採択では十分な効果が望めないことなどから、採決の結果、不採択と決定しました。

請願第1号

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の提出を求める請願

那珂市後台1282・7

全日本年金者組合那珂支部

支部長 人見 みさ

ほか1名

現在、高齢者が経済的理由で必要な治療や検査を受けられない状況があるとして、「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直し

不採択

に当たり現行制度の継続を求めるものです。審議では、請願の趣旨は理解できるものの、今後の高齢者増加が若者の負担増につながる恐れがあるため、国民全体の負担で国民皆保険を維持していくべきであるとの意見があり、不採択と決定しました。



請願・陳情の提出について ご注意ください

請願・陳情の提出期限は、定例会開会の約10日前に設定されています。期限を過ぎて提出されたものは、さらに次の定例会での審議となります。

期限は、議会だより裏表紙のほか、那珂市議会ホームページの「議会カレンダー」でもご確認いただけます。

一般質問

Q & A

《質問者 10名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しています。

P12 萩谷 俊行 議員

◇区域指定後の取り組みについて

P12 勝村 晃夫 議員

◇有害鳥獣対策
◇農業用溜池について
◇防火貯水槽について
◇オストメイト用トイレについて

P13 遠藤 実 議員

◇自治会制度について
◇貧困対策について

P13 福田耕四郎 議員

◇イオンの進出計画について
◇那珂インター周辺の整備について

P14 助川 則夫 議員

◇学校運営について
◇自主防災組織について
◇かわまちづくり支援事業について
◇有害鳥獣（イノシシ）被害と捕獲について

P14 小宅 清史 議員

◇区域指定を考える
◇幼稚園の統廃合について、一度立ち止まって考える
◇「あまやプロジェクト」について考える
◇自治会の考察

P15 花島 進 議員

◇インフラ整備計画について
◇茨城租税債権管理機構について
◇水戸市池上団地近くの中台地区の地盤損壊問題について
◇工業団地に誘致した企業の中の労働条件等について
◇シルバー人材センターについて
◇高齢などで体が不自由な人たちの交通手段について
◇図書館の蔵書選択について
◇ソーラー発電所の問題について
◇本米崎小学校跡の利用について

P15 寺門 厚 議員

◇高齢運転者への対応について
◇平成29年度施政方針について

P16 笹島 猛 議員

◇有害鳥獣被害対策について
◇平成29年度予算の特徴と今後の財政状況について

P16 古川 洋一 議員

◇認知症対策について
◇救命について
◇ペーパーレス会議について
◇教育環境の整備について
◇職員の仕事について

一般質問とは…

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

質問事項 区域指定後の取り組みについて

区域指定後に多様な施策を 取り組みを進めてまいります



萩谷 俊行 議員

Q 区域指定は4月から導入することですが、市内・市外の方々に、この制度をどのように周知・PRをしていくのか。また、市道には消防車や救急車などが入れない狭隘道路があり、市道整備が大変遅れています。今後どのように進めていくのかお伺いします。

A 建設部長 周知方法ですが、市のホームページで閲覧できるように、導入方針や指定基準を定めた那珂市区域指定についてと、指定する14集落の区域指定図を掲載します。また、「広報なか」により、制度概要等を周知したいと考えています。PRについては、特に市外の人に区域指定をする区域に興味を持ってもらうことが必要であり、ニーズやライフステージに応じたPRを展開していきます。

す。狭隘道路については、道路の利用状況、車両の通行上支障がある場合、地区住民の道路拡幅の要望を踏まえて、実状に応じて整備したいと考えています。

Q 定住促進策について、当市においても様々な施策を行っておりますが、出産・子育て・教育等まだまだ不十分なところがあると思えます。那珂市を本当に住みよいまちにしたいという思いを、最後に伺います。

A 市長 人口減少に対応し、それぞれの地域で快適で住みよい環境が確保できるように、まち・ひと・しごと創生総合戦略のもとに、区域指定導入後につきましても、庁内横断的に連携を図り、移住・定住を促進するため、様々な取り組みを進めてまいりたいと思えます。

質問事項 防火貯水槽について

防火貯水槽の設置について 自治会の要望により設置します



勝村 晃夫 議員

Q 火災発生時の消火設備としては消火栓と防火水槽とあります。現在、那珂市には消火栓は1323カ所、防火水槽は20立方メートル以上が39カ所、40立方メートル以上が247カ所と、計286カ所が設置されております。消火栓と防火水槽の併用をして火災時の対応をしています。消火栓は水道管より取水してあります。水道管は使用人口により管口径が決まります。小口径の消火栓は放水量も少なくなります。そこで防火水槽の併用となります。

現在、現在の消防車両は1分間に1立方メートルの放水量になります。防火水槽の設置について、大型化、新規設置はできませんか。

A 消防長 防火貯水槽の新規設置計画はありませんが、自治会からの要望があ

り、建設可能な土地の確保ができ、建設用車両が通行できる道路状況であれば、予算を計上してまいります。



防火水槽と消火栓

質問事項 自治会制度について

自治会加入促進条例を制定してはよく精査した上で判断したい



遠藤 実 議員

Q 近年、自治会の加入率が低下しており、現在72%です。加入率を上げるために、宅建業界と提携して不動産物件の新規契約時や更新時に自治会への加入を促す仕組みを作ってはどうか。

A 市民生活部長 どのような手法で取り組むか、今後よく調査検討します。

Q 未加入者への加入促進策として、外国人への促進チラシを作成しては。

A 市民生活部長 各言語に対応したチラシ作成を検討します。

Q 全国的にも前例のある、自治会加入促進条例を制定しては。現在でも那珂市協働のまちづくり推進基本条例がありますが、ここでは市の役割として自治会への加入促進策は記載されていません。先進事例では、

事業者の役割として加入するよう勧める条例もあり、自治会加入に特化した条例を作る必要があると考えますがどうですか。

A 市民生活部長 条例制定のための検討委員会を立ち上げる必要があるかなど、よく精査します。

Q 自治会に加入するメリットをわかりやすく示すことが必要では。例えば、「自治会に加入すれば、災害時には水・食料を1日分は全世界帯に配布します」など。現在でも自治会へ支給している交付金を増額して対応すれば、未加入者との区別も問題にならないのでは。

A 市民生活部長 自治会の加入・非加入によって住民を区別することは制度上問題があるのでは。いろいろ多角的な見地から検討します。

質問事項 那珂インター周辺の整備について

那珂インター周辺整備の考えは有効な土地利用を進めていきます



福田耕四郎 議員

Q 県北の玄関口である那珂インターチェンジ周辺整備のこれまでの経緯と現状について伺います。

A 企画部長 那珂インター周辺整備は、これまで様々な開発の検討がされてきましたが、農地転用の問題、事業主体の不在、雨水排水対策、経済状況の悪化等により実現に至っていませんが、土地利用の可能性が高いエリアなので、課題を整理していきます。

Q 突破口を開くのは行政だと考えますが、インター周辺整備についての市長の見解は。

A 市長 那珂インター周辺は、市のみならず、県北地域の活性化にとり、大変重要な地区と認識しています。

一方、この地域はインフラ整備、事業主体の確保な

ど課題がありますが、県北地域の市町と連携を強化し、実現性の高い開発計画の可能性を模索します。

いずれにしても、那珂市はもとより、県北地域の活性化のために、那珂インター周辺の有効な土地利用を進めていきます。



那珂インターチェンジ周辺の様子

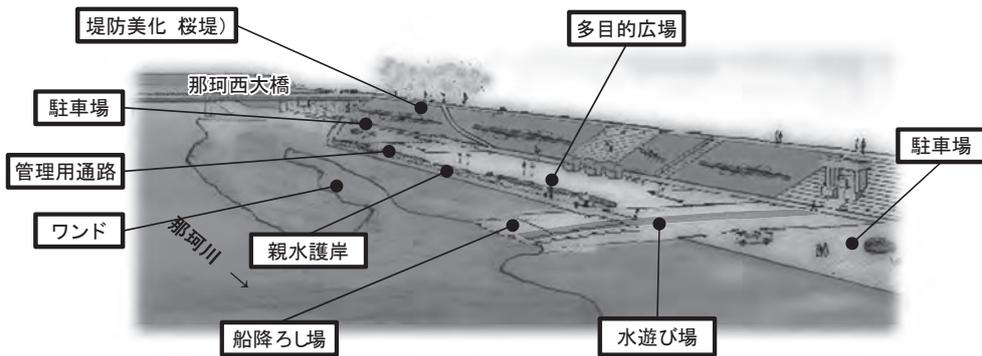
質問事項 かわまちづくり支援事業について
**供用開始までのスケジュールは
 平成34年度供用開始を目指します**



助川 則夫 議員

Q 本年度の予算内示書に新規事業として、会議費等の予算計上がされておりましたが、事業認可が決定されたということで、事業の整備終了、また、供用開始までのスケジュールはどのように考えておられるのか伺います。

A 教育部長 当初予算では、登録申請まで至っておらず、決定まで至っていないため、設計等に係る経費は計上しておりますが、本日決定されましたので、平成29年度、国と市で現地測量と設計に入る計画でございます。6月の補正を考えております。設計が固まり次第、市の施工分については、平成31年に施工に入りまして、平成34年度供用開始を目指していきたいと考えております。



戸多地区かわまちづくり 整備イメージ

質問事項 自治会の考察
**自治会組織の構造改革を
 検討すべき時期がきます**



小宅 清史 議員

Q 自治会の加入率の低下、高齢化による班長不足、活動資金不足など、自治会が抱えている様々な問題があります。市民のための組織とはいえ、実際加入率は70%台に留まり、行政も移住者に対して加入を強制できません。

そういった中、多くの自治会が直面しているのが自治会長の手不足です。その解決のための組織改革を提案します。まず、市役所の下請け的な事務作業は行いません。そして、多様性に対応するために会長制ではなく、理事会制にします。自治会長は理事長となり、自治会の方針は合議制によって決めていきます。これにより、会長が会員から突き上げられることも少なくなり、会員からの広い意見収集も可能になります。

す。今後このような根本的な組織変革をしていくため調査研究チームを庁内につくるべきではないですか。

A 市民生活部長 現在市民協働課の窓口におきましてもいろいろな問題をお聞きしています。時に一緒に解決策を考え、アドバイスをさせていただいています。問題解決についての相談は多々ありますが、組織の改編についてはまでの相談は今のところありません。しかしながら、いずれ自治会の組織改編というものも含めた検討をしていかなければいけない時期が来ると思いますので、まちづくり委員会や自治会も含めて一緒に考えてまいりたいと思います。

質問事項 インフラ整備計画について

下水道建設計画の大胆な見直しを
合併浄化槽も含め検討中



花島 進 議員

Q 那珂市の下水道建設計画、当初の計画通りに進めるのは無理があります。広域下水道中心から、合併浄化槽中心の方針を転換すべきです。道路、雨水の処理も含めた総合的な施策が望ましいです。合併浄化槽で快適な生活ができるだけでなく、安く建設でき、下水道のように長年待つことなくすぐに設置し使えるメリットがあります。

A 上下水道部長 ご指摘のように、公共下水道建設に多額の費用を使って進めています。整備率は40%未満で未整備地区もあります。28年度の公共下水道審議会において、公共下水道だけでなく、合併浄化槽についても検討して計画の見直しを進めていただいています。審議を重ね、早期に方向性を見出したいです。

Q 基本的な考えは理解いただいているようです。しかし、この見直し、簡単ではありません。市民の中には、広域下水道について、神話的な渴望もあります。ですから、広域下水道計画を縮小するということをきちんと説明するトップの意気込み・考えが大事だと思います。市長の考えをお聞きます。

A 市長 整備の遅れ、未整備地区の整備計画について、公共下水道審議会で公共下水道だけでなく、合併浄化槽、これは災害に非常に強くて、私もいい方法だと思っております。そういったものを含めた見直し案について整理検討していただいているところです。その方向性が決まるように、回答を待っているところです。

質問事項 高齢運転者への対応について

運転免許返納後の支援体制は
ひまわりタクシー利用促進を図る



寺門 厚 議員

Q 最近高齢運転者の痛ましい事故が増えています。運転免許を自主的に返納する動きが加速する中、茨城県では、平成28年1年間で2798人が自主返納するも、全国ではワースト5に入ります。理由は車がないと生活に支障を来すからです。では、本市の免許自主返納者は何人いますか。

A 市民生活部長 平成27年68名、28年106名と年々増加しています。
Q 自主免許返納者には身分証明書にもなる運転経歴証明書が発行されますが、本市においては生活の足に支障を来すので返納したくてもできない方が大多数です。免許返納の相談や家族への支援や対応など相談できる場所はありますか。
A 市民生活部長 市民相談室へご相談ください。

Q 免許返納者の心のケア、生きがいや趣味の継続、種々の相談といった免許返納後のフォローはどう対応していきますか。
A 市民生活部長 ふれあいいいきサロンを提供し趣味の継続やひきこもり防止を図っています。免許返納後の足となる公共交通の利便性の向上を関係部署とよく連携し検討します。

Q 免許自主返納者に対して本市独自の支援及び広域でできるサービスを検討すべきではないでしょうか。
A 企画部長 ひまわりタクシーの利用促進を図り、利用料金の助成を検討していきます。広域的なサービスは、茨城県中央地域定住自立圏の9市町村間において、病院への通院など市外運行の早期実現に向け協議を更に進めます。

質問事項 平成29年度予算の特徴と今後の財政状況について

どう進めるシティプロモーション いい那珂暮らし応援団を活用する



笹島 猛 議員

Q シティプロモーションとは訪問先として、また住む場所として1人でも多くの人に選ばれるまちになるために自ら売り込むことを目的として戦略的かつ効果的に情報を発信することで

す。独自の地域資源の発掘や、今までにないものを創出していくなど、本市の付加価値を高めながら、積極的にシティプロモーションを展開していくと思いたすが、具体的にどのような構想をもって成果を上げていくつもりですか。

A 企画部長 1つ目は、那珂市の認知度を内外に広めていく活動として、いい那珂暮らしのロゴマークの活用、応援団の設立とウェブマガジンの構築、2つ目は、子育て支援や教育、その他各種行政情報における情報メール一斉配信サービ

ス等の活用、3つ目は、新たな地域資源を創出し、特に観光やグルメとして発信する取り組みを、市民や地域の活動団体、民間企業や大学と連携して行っていきます。

Q どの市町村も同じようなことをやっています。他の自治体に負けないよう、常にアンテナを張り巡らせて、那珂市をいかに売り込んでいくかを、どのように考えていますか。

A 企画部長 ターゲットを絞って統一したロゴやキヤッチコピーを使って露出度を高めて戦略的に取り組むことが最も大事だと思っています。いい那珂暮らし応援団の方には、那珂市の良さを発見していただき、フェイスブックを使って情報を発信していくなど、継続的に進めていきます。

質問事項 教育環境の整備について

学校用務員を配置してほしい 教育予算の範囲内で検討させる



古川 洋一 議員

Q 県内で学校用務員を配置していないのは那珂市を含む4自治体のみで、本来は用務員が担う仕事の多くを先生方が行っているのが現状です。小中一貫教育が推進されている中、教師が児童生徒ともっと向き合う時間を確保するためにも、5つの学園に1人ずつでも配置してはいかがでしょうか。

A 教育部長 その必要性は認識しており、ここ2年間予算要望をしています。が、予算総枠の関係で確保できませんでした。

Q 私は以前から、予算は各部ごとの枠ではなく、市全体の予算の中で優先順位を検討すべきだと申し上げていますが、財政サイドの考えをお伺いします。

A 総務部長 原則前年度当初予算額を各部の要求限

度として予算編成作業に入るため、今後も各部においての必要性、緊急性、費用対効果などを精査して予算計上していきます。

Q 財政状況が理由であれば、市本庁舎の周辺除草作業は市長をはじめ部課長が中心となつて行い、浮いた予算で学校用務員を配置する方法もあります。では、本市の次代を担う子供たちへの教育に対する市長の想いを、予算配分も含めて考えをお伺いします。

A 市長 少子化時代を担っていく子供たちに対する教育は重要になっていくと認識していますが、同時に高齢化も進展していきますので、両方のバランスを取りながら予算配分していきます。教育委員会も本当に必要なあればもっと強く訴えるべきです。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（12月～2月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します。

大規模災害発生時には議会としても市対策本部と連携し情報収集・発信と市民の救援、被害復旧のため非常事態に即応すべきです。市議会では昨年9月に災害対応調査特別委員会を設置し、那珂市議会災害対策会議設置要綱等の改正について検討中です。今回、東

京臨海広域防災公園「そなエリア東京」より、防災士である澤善裕（さわ よしひろ）氏を招き、「地域防災と議員の役割、災害時の議員の心構え」と題して講演をいただきました。この施設は都市災害に備えた防災体験学習、各種防災訓練に使用できるほか、

発災時には現地対策本部として、首相官邸と連携し、被害状況の把握と応急対策の拠点となります。被害想定は帰宅困難者800万人、建物全壊61万棟と都市部の災害は想像を絶しますが、「防災意識」は都市か地方かは問いませぬ。議会としても市民の安心安全のため、全力で取り組んでまいります。

平成29年2月8日（水）

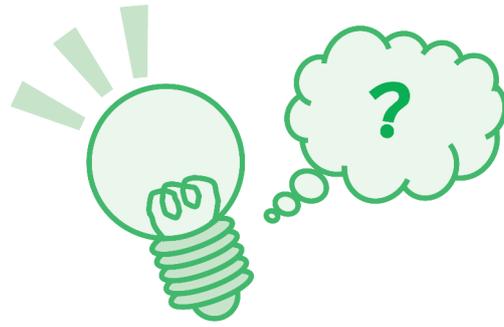
議員勉強会 「都市型災害に学ぶ」

活動日誌

12月	16日	議会広報編集委員会
1月	4日	議会広報編集委員会
	13日	議会広報編集委員会
	17日	茨城県市議会議長会議員研修会
	23日	議会運営委員会
	25日	議会広報編集委員会
	26・27日	産業建設常任委員会視察
	30日	教育厚生常任委員会
2月	1日	原子力安全対策常任委員会
	3日	総務生活常任委員会
	7日	産業建設常任委員会
	8日	議員勉強会 災害対応調査特別委員会
	10日	議会広報編集委員会取材 みどり市議会視察来庁
	15・16日	横手市表敬訪問
	24日	議会運営委員会 全員協議会 議会広報編集委員会

議会報告会

《調査・確認結果報告》



昨年10月22日、23日の議会報告会でいただいたご意見、ご質問のうち、執行部に確認・申し入れをする必要があったものについては、定例会閉会中の各常任委員会で改めて調査・確認を行いました。

確認したご意見及び確認の結果は、次のとおりです。

指導していくということです。

◎中台地区の下水道整備について

【内容】中台地区の下水道整備はいつになるのか。

【結果】中台地区は、第一次優先整備地区には含まれていないとのことでした。

執行部には、整備計画に盛り込む検討を含め、早急に対応していただきたいということを再度申し伝えました。

大きくように執行部に伝えました。

◎耕作放棄地対策について

【内容】耕作放棄地の増加が深刻化している。農業委員会にはしっかりと対応してもらいたい。

【結果】農業委員、農地利用最適化推進委員による農地パトロールにより、農地ごとに個別に対策を講じる取り組みが始められているとのことでした。また、地域座談会の開催なども行うとのことであり、これまで以上に力を入れて取り組んでいることが確認できました。

◎指定ごみ袋について

【内容】フルネームの記入がないごみに関しては回収不可のはずだが、地域によっては苗字だけで回収可能になっている。なぜか。

【結果】過去に家庭から排出されたごみにより環境センターにおいて爆発事故があり、多大な修繕費がかかった上に操業休止となった

ことから、排出者に責任を持ってもらうためにごみ袋に氏名を記載することとなりました。

執行部に確認したところ、原則氏名記載をお願いしたいとのこと、今後の記載方法については協議していくということでした。

また、収集業者間でごみ回収の不均衡がないように

◎静地区県道付近の排水が悪い箇所の対応について

【内容】県道61号環境センター入口の反対側に水がたまっていて。排水路が機能していない。

【結果】執行部から大宮土木事務所に確認していただいたところ、該当箇所は平成29年度修繕予定になっているとのことでした。早めに工事にとりかかっていただけのように働きかけていた

◎有害鳥獣対策について

【内容】栃木県の旧西方町では1年を通してイノシシの捕獲をしている。那珂市でも実施してはどうか。

【結果】旧西方町（現栃木市）において、確かに1年を通して捕獲が実施されているとのことでした。しか

し、那珂市でも平成28年度から、これまで6カ月だった捕獲期間を7カ月に延長しており、捕獲隊の負担等を考えると、執行部としては現在の方法で続けていく考えであるとのことでした。

イノシシが鳥獣保護区に逃げ込んで増えていることも考えられることから、鳥獣保護区の見直しなど、できる範囲での対策の強化を検討していただけるよう執行部に伝えました。

◎通学路の安全について

【内容】五台小学区内、豊喰地区の通学路の一部に、歩道がなく危険な箇所があるため、歩道を設置してほしい。

また、五台小学校から後台駅までの間には、高校・短大もあり、児童生徒の数が多くにかかわらず、街路灯や防犯灯が少なく暗いため配慮してほしい。

【結果】歩道については、



現地確認の結果、地元自治会長等のご協力を得て、執行部と協議を継続中です。街路灯についても、地元自治会等と協力して執行部と協議してまいります。

次回

議会報告会のお知らせ

那珂市議会5回目となる議会報告会を開催します。

今回は、平日夜の開催を予定しています。お仕事帰りの皆様にもお立ち寄りいただければ幸いです。

この機会に那珂市議会の活動に触れていただき、ご意見を頂戴したく存じます。事前申し込みは不要です。どなたでも、無料でご参加いただけますので、どうぞお気軽にお出かけください。

たくさんの方のご来場をお待ちしております。

◆日時・場所

- 平成29年5月24日（水）
ふれあいセンターよこほり
- 平成29年5月25日（木）
ふれあいセンターよしの
（時間は両日とも
18時30分～20時30分）

◆内容（両日とも同じ内容）

- 議会概要及び
定例会内容の報告

○意見交換

※参加者多数の場合は、会場の都合により入場できないことがあります。

◆お問合せ

- 議会事務局
総務・議事グループ
（内線224・225）



まちかど

ニュース

堀之内子ども会感謝の集い

(安全パトロール隊の皆様へ花束贈呈)

平成29年3月11日(土)

特別養護老人ホームいきり苑那珂にて

次回 6 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13 本会議 (議案上程 など)	14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17
18	19	20 総務生活 常任委員会	21 産業建設 常任委員会	22 教育厚生 常任委員会	23 原子力 安全対策 常任委員会	24
25	26	27	28 議会運営 委員会 全員協議会	29 本会議 (委員長報告 議案等採決)	30	7/1

※会議は、原則として午前10時開会です。

平成29年第2回定例会：6月13日～29日

平成29年第2回(6月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっております。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、6月2日(金)17時まで、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「You Tube」の動画サイトで公開しております。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市

(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。)

編集後記

イギリスがEUから離脱することになり、アメリカではこれまでとは異質の大統領が誕生しました。世界は一つの転換期に来ているのでしょうか。アジアでは、威嚇的な軍事演習、ミサ

イルの試射、おまけに暗殺事件まで起きています。世の中なかなか安穩に進んでくれません。それでも、小さな成果でも喜び、日常の楽しみも大切にしていきたいです。(花島 進)

議会広報編集委員会

委員長 小宅 清史
副委員長 大和田和男
委員 花島 進
委員 中崎 政長
委員 筒井かよ子
委員 木野 広宣
委員 遠藤 実